

令和2年度 森林環境譲与税に関する決算状況

事業区分	事業名	事業総額（千円）				事業内容	実績	税導入の効果（総括）
		うち当該年度の森林環境譲与税（千円）	うち基金取崩額（千円）	うち他の財源（千円）				
⑥ 林道・林専道の整備等	森林環境整備事業	11,000	11,000			県営林業専用道開設事業の負担金。専用道開設に併せ、モデル地区を設定し意向調査等を実施	測量設計：1,160m 開設工事：600m	・令和元年度に境界明確化を実施したモデル地区内森林において、森林経営推進センターと連携し林分調査を実施。結果に基づき森林所有者に対し意向調査、経営管理権集積計画の策定、及び林業事業体への再委託を実施した。（2.5ha）
⑪ 新たな組織の設立	森林環境整備事業	1,988	1,988			新たな森林管理システムの円滑な推進に向け、市町村に対する技術的なサポートを行う森林経営推進センターへの業務委託		・市内の約50haの森林を対象に新たにモデル地区を設定し、森林境界の明確化に取り組んだ。 【詳細】 我が市は、人工林の約6割が利用可能な時期を迎えている状況にあることから、本税及び森林経営管理制度を活用し、循環型林業を先進的に取り組むモデル団地を設定し「経営が成り立つ森林」について、伐採、造林、保育を推進し、他地域への波及を目指している。
① 意向調査の準備作業	森林環境整備事業	4,400	4,400			森林管理システムモデル地区での森林境界明確化のため、森林所有者の立合いの下、森林境界の確認	境界明確化：51.5ha	元年度に境界明確化の取り組みを実施したモデル地区での「森林経営が成り立つ森林」について意向調査を実施した結果、2.5haの森林で森林所有者から森林経営管理権の委託を受け経営管理権集積計画の策定を行った。（令和3年5月経営管理実施権配分計画策定）
① 意向調査の準備作業	森林環境整備事業	462	462			森林管理システムモデル地区での森林状況調査、資料作成のための空中写真撮影用の撮影機器購入	ドローン1機	2年度は森林境界が不明確で、人工林の集中する地域において、森林境界の明確化を実施（51.5ha）し次期モデル地区としての取り組みに向けた基礎資料の作成が完了した。
⑰ 基金積立（森林整備等）	森林環境整備事業	17,960	17,960			森林整備のための基盤整備、境界明確化、ICT導入のための積み立て		残額は令和3年度以降の森林環境整備事業に使用するため、基金に積み立てた。
合計		35,810	35,810	0	0			